

米村クラス

「日本臓器移植ネットワーク(JOT)のコミュニケーションストラテ ジーを考える②」

(注・受講生の表現案に使用されている画像は基本的にネット上のフリーのものや AI 自分たちで撮影したのですが、もし肖像権などで問題あるものがございましたら sakane@npllc.jp までご連絡ください。)

◆日時

2025年9月8日(月) 19時~21時

テーマ

日本臓器移植ネットワーク (JOT)

□JOTとは

日本の臓器移植の調整機関として、臓器提供から移植までの橋渡しを担っている

- 臓器提供と移植の調整
- 普及啓発活動 (ポスター、LINEスタンプ、グリーンリボンキャンペーンなど)
- 若年層への教育支援
- 意思表示サイトの運営 (意思登録カードの発行)

□臓器移植の意思表示が難しい理由

- 臓器移植の話題のハードルが高い
 - ①死を前提に考えることへの心理的不可の高さ
 - ②知識不足・誤解の多発
 - ③話題にしづらい文化的空気
 - ④死に対する宗教感の違い

- 臓器移植を考えるきっかけが少ない

ほとんどの人が臓器移植を考えるきっかけがマイナンバーカード・運転免許証を入手した際なのではないか

□課題としての提案理由

- JOTは臓器移植を「特別な誰かの話」から「自分ごと」にするための仕組みとコンテンツを、地道に展開している組織だから。
- 言葉でサービスと人との新しい関係性をつくれると思ったから。

【米村スライド】

①登録しない理由がある。

【づらのストラテジーA】

ターゲット:

神社に健康を願いに来る人

インサイト:

ジンクス、スピリチュアルを少し気にする。

臓器提供への意思表示は、自分が死ぬことを前提にするものなので嫌な印象がある。

(命を取られる感じがする)

USP:

日本で唯一、正しい臓器移植の橋渡し行える組織。

プロポジション:

JOTは、臓器移植を待つ方も、ドナー登録をされた方もすべての人の「健康に生きる
こと」

を願っています。

づら

ターゲットは、神社に健康を願いに来る人ってことにしてみても。インサイトからターゲットを決めたみたいになった感じになったんですけど、ドナー登録に意思表示をしちゃうと死をを前提にしていることになるから、死ぬ予兆につながっちゃうんじゃないかみたいなの。そういうのを深く考えちゃう人は、こういう人なのかなと思って、そういう人ってスピリチュアルとかも気にするひとですし。

提供の意思表示は、そういう命を取られるみたいなイメージから嫌がっていることあるなと思って、USP があるか不安なんですけど日本で唯一正しい臓器移植の橋渡しを行う組織としていうにしています。

プロポジションは、JOT は臓器移植を持つ方もドナーの登録をされた方も、すべての人への健康を願っていますにしました。

この JOT は臓器移植を待つ頼りになっちゃうというか、命をつなぐっていうのもなんで。つながれる人がいるから提供してねって言うてるといふか、ほかの人たちの健康のために登録してみたいなのがちょっと一方的な感じもしていたので、それだけじゃなくて、登録してくれた人の健康を願っている、そういう企業の組織です。ということを書いたらいいなと思ってこうしました。伝わりきれてるかわかんないんですけど。

米村

正しい、臓器移植ってなんだろう。正しいって何が正しい？

づら

サイトの中なんですけど、そもそも日本で橋渡しできる組織ってこの組織しかないからどっかが、臓器移植を、やりますって言ったら、それは、正しいのかもしれないですけど公的な機関じゃないかな。っていう意味です。信頼みたいな。

米村

正しいっていうのは日本語として適切じゃないんじゃないかな

づら

正しい臓器移植は確かに違ったかもしれないです。

正しい斡旋を通して、臓器移植の発展に貢献しますって言いたかったのかも

米村

こういう少ない文字に、自分の考えが凝縮するわけだから、1つ1つの単語を、ちゃんと考えよう。

これ何時間考えたら分からないけど。考えたことをそこに凝縮しているときの、正しい臓器移植ということと公的な臓器移植。これは全く意味が違うから。

どういふことなのかみたいなことを吟味して使わないと。

ここだけではなくて、普段の仕事についてもそうだよ。

【づらのストラテジーZ】

ターゲット:

ブックオフやメルカリを利用する人、保護犬などに興味がある人

インサイト:

まだ使えるものを捨てるのに罪悪感がある。
どうせ捨てるなら、必要な誰かに使ってほしい。

USP:

安心できる環境を整え、誠意と真心をもって臓器移植に接する日本唯一の組織です。

プロポジション:

JOTは、一度居場所を失ったものに、もう一度輝ける場所を提供します。
あなたの臓器提供の意思表示で、臓器に希望を与えませんか？

づら

これも、ブックオフとかメルカリを利用する人とか、あとは保護犬を引き取ろうと考えている人とか、そういう人をターゲットにしました。

インサイトはこういう人たちって自分の読み終わった本とかは、捨ててもいいのに、ブックオフにいくとか、安さを目的に来ている人もいるかもしれないですけど、メルカリは再利用になるかも、とか保護犬とかもそういう考えで来てるので、どうせ捨てるなら、必要な誰かに使ってほしい、みたいなインサイトがあるなと思って。

USP は安心できる環境を整えて、誠意と真心を持って臓器移植に接する日本唯一の組織ですと言ってて。これはなんか、ホームページの基本理念のところで言ってる価値観みたいなのところを書いてある言葉を持ってきています。臓器移植に対しての向き合い方みたいな。

プロポジションは、JOT は一度に居場所を失ったものに、もう一度輝ける場所を提供します。あなたの臓器提供の表示で、臓器に希望を与えませんかって。

臓器に人格を与えるみたいな感じで、自分ではあるけど、自分の持ち物として考えてもらえたらいいかなと思って。

米村

ごめんこれ順番間違えた。

A 案と一緒に、ここに入れちゃって、

これ別に意志を持って、登録していない人と限らないよね。

逆に言うとき、ここに書いてあるターゲットとインサイトだけだとさ、ドナー登録している人とも考えられるよね。どっちかわからないよね。

づら

そうですね。どういうことができるかなっていうふうに、そっち側から考えてみてやってみたのでむしろかしかったなど。

米村

今回は少なくともターゲットは、ドナー登録していない人がターゲットになるべきだと思うから。そのこと1つとっても、ターゲットののところとかのカテゴリーをもっとどういう人かを違う形にすべきかと。

づら

そこまで考えがいたらなかったんですけど、登録とか、このやり取りをするにあたって、絶対身分証は持っていないといけなくなるとして。その接点で何かするみたいな機会を与えられたらどうかと思ってました。

米村

さっきの「正しい」の続きでいうと、誠意と真心を持って接する日本唯一の組織ですって言うけど。それだと正義と真心がなくても臓器移植するところがあるように聞こえるじゃない。ここの記述もやっぱり不適切な感じがす。

【モゴのストラテジーA】

ターゲット

臓器提供には前向きだが、ドナーカードの登録は後回しにしている人

インサイト

自分の決断を家族にネガティブな受け止め方をされるのではないかと心配。

USP

JOTのドナーコーディネーターは、本人の意思を尊重しながら家族への意思確認を何度も行い、臓器提供後も家族の支援を行う。

プロポジション

JOTは、万が一あなたが脳死状態に陥った際はご本人の意思を尊重しながらご家族への意思確認を何度も行い、臓器提供後もご家族の支援を行います。臓器提供の登録をすることで、大切なご家族が重い決断する際に支えとなり、患者さんの生きたいと望む意思を叶えることにつながります。

モゴ

僕はA案Z案の2案ですけど。A案は臓器提供に前向きなんだけど、臓器移植自体やりたい思ってるけど、登録は後回しみたいな。

でインサイトはいろいろあるかなと思うんですけども、先を考えたときに、例えば、その家族が周囲の人にネガティブな受け取り方がされるのではないかなというところが一番影響あるんじゃないかなと思っています。

それに対してJOTという組織は、本人の意思を尊重しながら、家族への意思確認を何度も行い、臓器提供後も家族の支援を行うというところで、臓器提供後ではあるんですけども、しっかり向き合ってくれる。というのはあると思います。

プロポジションはちょっと長いですけど、JOTはあなたが脳死状態に陥った際は、あなたの意思を尊重しながら、家族の近くで支援をし、提供後も支援をする、臓器提供の場面でその家族がその決断をする際に、あなたの決断は支えになると、あとはその先に患者さんが臓器移植により生きるというにつながっていると。

米村

インサイトを見ると、ターゲットは前向きとは書いてあるけど、自分が決めたことに、家族がそういうことになるというのが心配だから、登録していないっていうことだね。つまり、先送りにしているっていうよりも、今しないのはそういう理由でしてないっていうこと。考えてみたけれどもしてないっていうことかなと。

【モゴのストラテジーZ】

ターゲット

臓器提供の決断ができず後回しにしている人

インサイト

人の命や尊厳に関わる決断を、今の自分の判断でしてしまっているのか。

USP

JOTは、啓発活動を行いながら臓器提供をする権利もしない権利も平等に尊重しており、臓器提供の意思表示もオンラインから都度変更することができる。

プロポジション

JOTは、臓器提供をする権利もしない権利も平等に尊重しており、臓器提供の意思表示も都度変更することができます。悩むということはあなたが自分の生に真剣に向き合っている証であり、そうした意思から生まれた判断は、社会的にも尊重されるものです。

モゴ

Z案は、これは、そもそもイエスカノーかというところで、それも迷っている。

そういう人たちが、なんで、イエスカノーか、ちょっと決めかねているかというところのインサイトで、人の尊厳に関わる決断を、今の自分の例えば、不勉強とかもそうでしょうし、浅く考えていいか、みたいな。

そういった、インサイトに対して JOT って組織は、ケア活動をちゃんと行っているところがあるんですけども、何よりも臓器提供をする権利もしない権利も尊重していて、かつ、自分の意思が変わったら、ちゃんとその都度変更することもちゃんと対応しているというところで、あなたの今の判断も尊重をするというところが JOT って組織のあり方なのではないかなと。

JOT は臓器提供する権利もしない権利も尊重していて、意思表示も変更することができるので、ここからプロポジションところなんですけども、悩むということは、あなたが適当に考えていない。真剣に自分の生に向き合っているということだから、そうした意識から生まれた判断は、JOT としても尊重するし、社会的には尊重されるんですよというところです。

米村

このインサイトの、人の命や尊厳に関わる、ってこの人って誰？

モゴ

自分です

米村

自分の命や尊厳に関わるということ？

モゴ

例えば、なんとなくノーにしてしまったときその臓器を受け取りたくて、苦しんでいる人が亡くなってしまうと思うとか。

米村

ということは、やっぱり自分だけじゃないと、

モゴ

そうですね。自分だけではないかもです。二つあって。イエスにしちゃって、切り刻まれるみたいな感じがしちゃうのもそうですし、ノーにしちゃって、テレビとかで苦しんでいる人もいて本当にいいのかみたいなとか。

米村

でもあれは違うよね。テレビで見て、苦しんでいる人を見たら、イエスにつければいいけれども、イエスっていいきれないのは、自分が切り刻まれることが、やっぱりいやだっていうことだよ。

モゴ

そうです。

米村

自分の話は尊厳と関係ないよね。

モゴ

自分に対しては、使わない言葉かもですね

米村

切り刻まれるのはいやだっていう話で尊厳と書いてある。

モゴ

そこは尊厳の話ではないですか？

米村

でも、脳死で心臓停止だから、命はないわけだよ

モゴ

自分よりも家族を考えると違ってくる。家族が、親が反対するみたいなの。

臓器が、死んじゃった後だし、いいやあバツみたいなの。そういう軽い決断がいいのか、みたいなのところに対することです。

米村

ここからは、わりと漠然とした不安があって、後回しにしてっていうふうな人で

【米村スライド】

②漠然とした不安があり後回しにしている。

【G面のストラテジーZ】

ターゲット	: 臓器提供の意思表示をなんとなく後回しにしてしまっている人
ターゲットインサイト	: 不確実な死後の自分を考えるのに恐怖があり、抵抗感を持っている。
USP	: 死後の体の扱いは、生前に自分の意思で決め、サポートを受けられる。
プロポジション	: 臓器提供の意思表示を通じて、より死後の不確実性を減らし、死に対してより前向きな人生を送りませんか。

G面

はい、Z案なんですけど、臓器提供をなんとなく後回しにしまっている人の中にインサイトとして、不確実な、自分の死を考えることに恐怖があって、抵抗感をもつ人がいるんじゃないかなと思いました。

それは前回の議論で、づらさんとかが、そういう死ということ自体考えたくないみたいな話とかがあったので、そもそも死っていうテーマすら考えたくないみたいな人がいるんじゃないかなと思って、こういうインサイトを書きました。

そのインサイトに対して、USPとしての死後の体の扱いとかだけは、生前に自分の意思で決めて、この臓器移植ネットワークがサポートしてくれるっていうのが価値だなと思って、これを書きました。

プロポジションとしては、臓器提供の意思表示を通じて、より不確実性を減らすことで、死に対しても考えないというよりも、死は訪れるものなので、前向きに人生を送りませんかという提案を書きました。

米村

死後の不確実性ってなんだ、なんのこと？

G 面

天国に行くかわからない。死後の世界ではわからないということ

米村

そういうこと、なんでその不確実性が減るんだろう、ちょっと噛み合っていない。

G 面

ちょっとインサイトを書いてから、その後書くのに詰まってしまった。

米村

ドナー登録で人に内臓をあげたからって、天国か地獄行くか。

多分、天国に行くよって確率があるわけじゃないよね。

G 面

そうですね、それは違うといいます。

米村

安全地帯のやつ行こう。

【安全地帯のストラテジーA】

- ターゲット : 制度を知ってはいるけど意思表示をしていない人
- インサイト : 意思表示は「選択」ではなく「覚悟」を迫られているように感じる
- USP : 人生観を尊重してくれる
- プロポジション : 一人ひとりの、死後の“あり方”を尊重する。

安全地帯

A 案と Z 案共通して、ターゲットインサイトと同じにしたんですが、制度は知っているけど意思表示していない人、これはもう前回も話したかなと。

インサイトについては、ちょっと母親とかもいろいろ話をしていて、家族の話をしたんですけど、そうすると、意思表示って、イエスかノーか二択だから、あの見え方として選択なんですけど、その死後の、いろんな死生観とかも含めて、すごく覚悟を迫られているように、感じるっていう言葉を言っていて、これはかなり共通したベースになるインサイトかな？というふうに思っています。

A 案としては、その中で人生観を、改めて、JOT を見ていた時にその覚悟を迫っているっていうインサイトに対して、寄り添うみたいなのが、USP としてはあるかなと思っていて、人生観を尊重してくれというふうに感じました。

プロポジションが、1 人 1 人の死後のあり方、その人生観っていうのを少しちょっと噛み砕いて、死後のあり方というふうにしたんですが、死後の生き方とか、死後のあり方みたいなところが、人生観につながる場所で、それを尊重してくれるっていうところが JOT プロポジションになると考えました。

米村

G 面とちょっと近いことを書いたかもしれない。死後のあり方って何？

安全地帯

話かぶるんですが、母親と話してて、天国があるか、地獄とか地獄に行くみたいな話っていうところは、漠然としたわからない不安。私はその意思表示をしているが、母親はしてなかったんですけど、母親は表示していない理由というのは、5 体満足じゃないと死後の世界の天国、あるいは地獄みたいな、その死後の世界っていうのところで、5 体満足じゃないといけないかどうか分からないのに、体を奪われてしまうというこ

とが、不安だというふうに言っていて。

それはすごく印象的だったので、それを言葉としてまとめたときに、それが結局、人生観っていうことにながっていて、それをもう少し考えた時に、死後のあり方というふうに落としたっていう感じです。

米村

死んだ後、天国にちゃんといけるかどうか、そういうものがあるかどうかわからないけど、一応、あった時のためにということだよな。

安全地帯

そうです。死後の第二の人生的なものを十分に暮らすためには、5体が満足じゃないといけないかもしれないから、そのために残しておきたいというふうに言っていたんです。僕は全その第二の人生は、自分のなか魂だけが残って、体とかはリセットされているか、受け継がれないという考え方をしていたので、全然そんなこと思わなかったんですが、母親はそこが不安だっていうふうに思っていて、そこがすごく印象的で。

米村

覚悟を迫られているように感じるというのはさ、迫られているからどう思ってるの？

安全地帯

迫られていることに、ちょっとなんて言うんでしょう。ナイフに突きつけられている感じがするみたいで、焦りというか、切迫感を感じる。その意思表示カードを見たときに、すごく大事な選択を迫られているように

米村

感じるというか迫られているんだと思うんだよな。

それに対してどう思っているか。

安全地帯

そうですね

米村

そんなことを国に言われる筋合いはない、みたいなの。反発心があるとかそういう人もいると思うんだよな。

スペインのように何も言わなければ、勝手に ok にされるという。やっぱり国っていうものに属しているから、そういうことになる。みたいなことに対する気持ち。

【安全地帯のストラテジーZ】

ターゲット : 制度を知ってはいるけど意思表示をしていない人

インサイト : 意思表示は「選択」ではなく「覚悟」を迫られているように感じる

USP : 自分や大切な人の人生について、考える材料を増やしてくれる

プロポジション : 「生きるとは何か。死んだらどうなるのか。」

これからの人生を考えるきっかけを与える。

安全地帯

ターゲットインサイトは一緒に、USP として、前回、だらさんが言ってた話し合うきっかけみたいなところは、改めて JOT の USP かなと思っていて、自分あるいはその大切な人の人生について考える材料。今回、このお題をやるにあたって、改めて母親と結構熱い議論を交わしたんですけど、そういう考える材料を増やしてくれる場を設けてくれるっていうところは USP かなというふうに思いました。その臓器提供をしてくださってという活動を JOT がしているというよりは、そのいろんな情報提供をしてあげるところが活動の主軸になっているので。

提供を増やすより考える材料を増やすというところが、USP になるかなというふうに思って、そうすると人生観みたいなのところも、プロポジションには入ってくるんですが、その生きるか死ぬことについて、考えるきっかけを与えてくれるっていうのが、活動というプロポジションかなと思ってまとめました。

米村

プロポジションって、インサイトに対して、そういうふうに思ってる人に対しての、ある種、それを解決するきっかけになる提案して、しかも解決するだけじゃなくて、こういう意義がありますよ、というところまで考えようって話しているよ。

覚悟を迫られているように感じるって思ってる人に、人生を考えるきっかけを与えますよ。っていうことが答えになってくると？

安全地帯

そうですね。

米村

それもまた1つさらに迫ってきてるってことじゃない、
人生を考える、生きるとはなんだ、死んだらどうなるのか？考えろよって迫られてるんじゃないかな

安全地帯

そうですね。インサイトがさっきのおっしゃったように覚悟を迫られたから、どうかってところまでがないから・・・

米村

そうインサイトが中途半端。そこがはっきりしないとそのプロポジションが、インサイトに対してのアンサーだとかどうかということは判断できない。これだと、両方の平行な感じがする。

【僕のストラテジーA】

ターゲットインサイト:

見られたくない。持ち物や周囲に意思が露出するのが怖い。
戻れないのが怖い。一度の登録が不可逆に感じて踏み出せない。
配分の仕組みが外からは分かりにくい。
→ 意思表示、臓器提供に不安がある

USP

- カード不要のオンライン登録。（持ち物に意思が露出ししない）なくしても、医療現場には正しく届きます。
- 意思はいつでも更新。（“いま”を仮置きでOK）気持ちが変わったら、その都度オンラインで反映。
- 公正なあっせん。（配分はルールで決まる安心）法律に基づく手順・無償原則、独立医師の二重確認、公的ネットワークの監督にもとづき運用。

タグライン

登録・更新を簡単に。あっせんは公正に。JOT

プロポジション

必要な人に、公正に届く。あなたの意思が、その準備になる。
JOTはオンライン登録で意思を医療現場へ正しく届けます。意思はいつでも更新可能。臓器の配分は、法律に基づく手順と無償原則のもと、
独立した医師の二重確認と公的ネットワークの監督で“決められた通り”に運用。
いまの気持ちで“仮置き”しておくことが、誰かの明日につながる準備になります。

僕

A案はターゲットが、今、臓器提供を意思表示したいと思ってるけど、行動を先送りしている人にしていて、こういうひとはちょっと色々調べたら見られたくない。

1つ目はカードの裏に書いたら、自分はどんな意思表示をしているのか、見られる。

2つ目は自分の意思表示したら、また変えられるというイメージを持たないんじゃないかなと思って。

3つ目は臓器提供の仕組みがわからなくて、自分の臓器をどう使われているのかわからないで、臓器提供について不安があるんじゃないかなと思っています。

USPはJOTはカード不要でオンライン登録なので、自分の免許証とかにも書かなくても大丈夫で、カードとかもなくしても、一回これに登録すれば、オンラインのデータがあなたの意思になる。
また、医師がいつでも更新できる。なので今はノーとしても、いつか更新したいであれば、変えれると。
あとは、公正な斡旋をしています。ホームページにもあったんですけど、その手順とか、そういうルールとかに基づいて対応しています。

タグラインはちょっと考えみたんですけど、登録更新を簡単に斡旋は公正に。ちょっと確認してみたら、意思表示の登録更新を簡単にとか、もうちょっと詳しく書いた方がいい気がしたけど、ちょっとリズム感を求めて、そういう感じにしていました。

プロポジションは、A案は必要な人に公正に届く。あなたの意思がその準備になるJOTは、オンライン登録で、意思を医療現場に正しく届けます。意思はいつでも更新可能。臓器の配分は、全部基づいているデータのとおり利用します。今の気持ちは、仮置いて、誰かの明日に繋がる準備になります。

米村

これも聞いていると①の意志を持って登録していないカテゴリかな。

【僕のストラテジーZ】

ターゲットインサイト:

見られたくない。持ち物や周囲に意思が露出するのが怖い。
戻れないのが怖い。一度の登録が不可逆に感じて踏み出せない。
配分の仕組みが外からは分かりにくい。
→ 意思表示、臓器提供に不安がある

USP

- カード不要のオンライン登録。(持ち物に意思が露出ししない) なくしても、医療現場には正しく届きます。
- 意思はいつでも更新。(“いま”を仮置きでOK) 気持ちが変わったら、その都度オンラインで反映。
- 公正なあっせん。(配分はルールで決まる安心) 法律に基づく手順・無償原則、独立医師の二重確認、公的ネットワークの監督にもとづき運用。

タグライン

登録・更新を簡単に。あっせんは公正に。JOT

プロポジション

YESでもNOでも、家族を迷わせない。
JOTなら、あなたの意思がオンラインで確かに届きます。意思はいつでも更新可能。配分は、法律に基づく手順・無償原則・独立医師の二重確認・公的監督で公正に。
“いま”の考えを記録しておけば、いざという時の家族の指針になる。推測や行き違いを減らし、話し合いの負担を軽くします。

僕

Z案は、プロポジションを変えていて、イエスでもノーのでも、家族に迷わせない意思がオンラインで確かに届きます。意思はいつでも更新可能では一緒に、最後は今の考えを記録しておけば、いざという時に家族の方針になり、推測や行き違いを減らし話し合いの負担を軽くします。前も見た統計的データだとなくなっ

た方が結局、最後は意思表示してなく家族にとって結構負担かかっているのがあって、自分もいつかなくなるかもしれないし、亡くなったときに自分の身近な人に負担をかけないのが、1つのプロポジションじゃないかなと思って。

米村

これターゲットも USP も複数書いてあるじゃない。

インサイトはいろんな人がたくさんあるんだけどもその中で、どれが一番強いインサイトなんだと思って選ぶことが大事。A案Z案とプロポジションを書き分けているけど、A案のプロポジションは現状に不満があるというインサイトにだけに答えているもの。Z案に関しては他に露出するのが怖いというインサイトにそんなことありませんよって答えていたんだけど、もう少しそれぞれ考える必要がある。

いずれにしても、ターゲットってどういう人だろう。

僕

意思表示、臓器提供意思表示には興味あるけど、先送っている方

米村

こういうふうになぜ先を送っているのか。

僕

そういう不安があるんじゃないかなと思っている。

米村

だとすると、まずはそこにフォーカスしてる、その根拠を考える必要がある。

【米村スライド】

③特に否定する理由はないが放置している。

【G面のストラテジーA】

ターゲット	: 臓器提供の意思表示をなんとなく後回しにしてしまっている人
ターゲットインサイト	: 臓器提供に関して知識がなく、1から調べるのも面倒なのでドナーになる決断を行いにくい
USP	: 臓器提供を正しく知り、最善の方法で臓器が贈られるようにサポートしてもらえる。
プロポジション	: 臓器提供の意思表示を通じてドナーになることで、もしもの場面に備え、より安心した日常を送りましょう

G面

はい、A案はなんですけど、なんとなく後回しにしてしまっている人をターゲットに設定して、インサイトとして、臓器提供に関しての知識がなくて、1から調べるのがめんどくさいので、ドナーになりにくいというがあるのではないかと思います。

そこで、USPとして、臓器提供を正しく知り、最善の方法で臓器が送られるようサポートしてもらえるように書きました。プロポジションはちょっとあまりインサイトに対応していないなどは思ったんですが。

米村

そうだよね。

G 面

ちょっとインサイトに対しての提案になってなかったなっていう。
反省点です。

【トリのストラテジーA】

ターゲット

免許証/マイナンバーカード/健康保険証を発行している×臓器移植に意志を持って拒否する以外の人

インサイト

自分に直接的なメリットがある内容でないため、臓器移植意思表示の大切さを自分ごと化できておらず自分で積極的に情報を取りに行こうと考えていない。

現状の臓器移植に関する患者の状況や意思表示の仕方を学ぶきっかけがない。

USP

- ・臓器移植法に基づき、脳死・心停止下での臓器提供から移植までを一元的に調整する日本で唯一の組織
- ・ドナー登録促進や臓器提供に関する正確な情報提供、社会的理解促進を行う唯一の公的拠点。
- ・国内外の移植倫理基準に準拠した医学的かつ公平な基準で全国の待機患者リストから割当を行う

プロポジション

「日本で唯一の法に基づいた臓器移植の組織として、臓器移植について考えるきっかけを提供します
臓器移植の現状や意思表示の方法について分かりやすく解説します」

トリ

A 案が、健康でそういう意思表示ができる媒体を持っている、× 意思を持って拒否する以外の人っていうような形にして、インサイトとしては、直接的なメリットがある内容じゃないんで、自分ごとができてなくて、情報を取りに行こうと考えていない。かつ、学ぶきっかけみたいなものがないっていうようなところですね。USP としては、一番基本的に法に基づいて調整している日本で唯一の組織っていうのがいろいろ調べたら出てきたので、そちらを。プロポジションとしては、日本で唯一の方法に基づいた組織として、きっかけを提供します。また、現状だったり、方法についても分かりやすく解説します。みたいなところで考えて整理しました。

米村

インサイトの書き方が間違っているんじゃないかな。

インサイトはその人が考えていること。「きっかけがない」は状態の説明。この人自身が、きっかけがないという状態に対して、どう思っているのかということ。

あと、USP もここに書いてあるこれ全部多分間違いじゃないんだけど、一番はなになのか。

インサイトとしてちゃんと抽出しきれてないからそれに対してがわからない状態。

このような下書きでまずこういう事実を羅列して、その後これはどうやってそのインサイトとプロポジションにできるかということを考える。Z案も一緒だな。

【トリのストラテジーZ】

ターゲット

免許証/マイナンバーカード/健康保険証を発行しているすべての人××臓器移植に意志を持って拒否する以外の人
×医龍やコードブルーなどの医療ドラマ番組ファン

インサイト

医療ドラマを通じて、臓器移植の意思表示は自分ごと化しているものの
自分にメリットがある内容でないため、自分で積極的に情報を取りにいこうと考えていない。
意思表示の仕方を学ぶきっかけがない。

USP

- ・臓器移植法に基づき、脳死・心停止下での臓器提供から移植までを一元的に調整する日本で唯一の組織
- ・ドナー登録促進や臓器提供に関する正確な情報提供、社会的理解促進を行う唯一の公的拠点。
- ・国内外の移植倫理基準に準拠した医学的かつ公平な基準で全国の待機患者リストから割当を行う

プロポジション

「日本で唯一の法に基づいた臓器移植の組織として、臓器移植について考えるきっかけを提供します
臓器移植の現状や意思表示の方法について分かりやすく解説します」

トリ

そうですね。はい。

【白湯のストラテジーA】

ターゲット 意思表示を後回しにしている人

インサイト 大事だと思うけど、ぶっちゃけよくわかってないから、死を考えるのは重いし赤の他人の命のことまで考えられないから、まだ先でいいかな。

USP 日本で唯一の臓器移植の提供に関する公的機関であり、透明性ある仕組みで運営している

プロポジション あなたの意思が、友人、次世代の子供たち、社会全体を支えるきっかけになります。

白湯

私も意思表示を後回しにしている人を書かせていただいたんですけども、このインサイトは大事だと思いました。「ぶっちゃけよく分かってない。」。よくわかってないからさらに死を考えるのは重いし。赤の他人の命のことまで考えられないから、まだ先でいいかなっていう思いで後回しにしているという、インサイトです。

その中で、USPとしては、日本で唯一の臓器移植の提供に関する公的機関であり、透明性ある仕組みで運営しているということが、USPになっています。

プロポジションは、あなたの意思が、友人、次世代の子どもたち、社会全体を支えるきっかけになります。というようなプロポジションにしています。

米村

社会全体を支えるきっかけって具体的どのようなことをいっているの？

白湯

そういう臓器を待っている人たちが活躍していったら、社会がまた変わる可能性があるとか、そこからまたさらにつながり可能性があるということをきっかけになるかな、というようなこと。

米村

次世代の子どもたちってというのは、臓器を待ってる人たちってことではない？

白湯

ないです。というのは、インサイトでちょっとそこまでは考えられないから、友人とか、自分の子供、孫みたいなのところから考えてみようねっていう意味も踏まえて、友人や次世代の子供達みたいなのところ。

米村

これ大事なところで、臓器移植することで助かる命があってその人たちの働きで未来の社会が変わる可能性はある。そのことは、あなたの友人とか、次世代の子供たちにも影響がありますよ、ということを行っているのか。

それとも、あなたの友人とか、次世代の子どもたちを臓器移植で救える可能性がある。それは、次世代を支えるきっかけになるって言っているのか。

白湯

後者です。

米村

今、仲の良い人の中で臓器移植を待ってる人がもしいるかもしれないということを行っているってこと？

白湯

そうです。明日、仲のいい友達が臓器を必要となるかもしれないよ。

可能性あるよ、みたいなことかなと思った。

米村

だったらそこわかるように書かないと、そこがわからなかった。どっちかなと考えていた。

今の違いは分かった？俺がどこだわって聞いてたかわかった？

わかってない人？いっぱいいいそうだな。

あなたの意思が、友人、次世代の子どもたち、社会全体を支えるきっかけになりますっていう、その友人とか、次世代の子どもたちが臓器移植によって治療しないとなくなるということを想像してください、ということか、その人たちが救われることで、あなたが提供する臓器によって救われることで、社会全体を支えるきっかけになるんじゃないですか？っていう、そういったことを想像してくださいということ。

わかったかな。結構大事なポイントだと思うんだけど。この文章だとわからないんだよね。

僕

ちょっとどういう意味かまだわからない

米村

1つ目は、もう少し直接的になっているという。実際の子もたちの、臓器移植を待ってる人たちを救うことが社会全体を支えることになるという。

2つ目は、臓器移植というものがもう少し広がると、あなたのような人が増えて、社会全体がそれによって、良くなるということ。

それはあなたの友人とか、次世代の子供たちにとっても、暮らしやすい社会になる。

臓器移植ということが普及することで、世の中が良くなるということは、あなたの友人とか、友達にとっていい世界のことになるんですよっていうことを言ってる

【白湯のストラテジーZ】

ターゲット 意思表示を後回しにしている人

インサイト 特別なことはできないし、してないけど、何かの時にはだれかの役に立ちたい。

USP 家族と本人の意思を尊重し、透明性ある仕組みで運営している

プロポジション 誰かの臓器移植をするという選択を、子供・孫の命、誰かの大切な人の命と心を救うことにつなげていきます。

白湯

こっちはもっとライトな感じで考えていて、ライトなターゲットにしている、

これは、24時間テレビを見ながら思いついたんですけど、特別なことはできないし、今はしてないけど、なんかの時には、誰かの役に立ちたいっていうインサイトを持っているような人で後回しにしちゃってる人。

そういう人には、家族と本人の意思を尊重し、透明性ある仕組みで運営しているを USP にしました。

自分のかもしれないですけど、自分の臓器移植をするという選択を、子どもなどの命、誰かの大切な人の命と心を救うことにつなげていきますというプロポジションにしました。

米村

このプロポジションはさ、私たち JOT は。という宣言みたいな言葉になっているよね。

【ズレ郎のストラテジーA】

ターゲット：臓器提供について知っているが、意思表示を明らかにしていない人

インサイト：臓器提供をするかどうか悩み、決めきれないうちに忘れてしまっていた。

USP：JOTは臓器提供に関するあなたの意思表示を尊重し、万が一の時にご家族や医療関係者にお伝えする役割を担っています。マイナンバーカードや免許証、インターネット登録など幅広く柔軟な手段を用意することで、あなたの意思表示を支援します。

プロポジション：臓器提供は生死や身体に関わる大事な選択だからこそ、意思が変わることもある。けれど、悩んでいるうちに後回しにしていると、もしもの時は急にやってくる。そんな時に、あなたの家族を悩ませないために、JOTはインターネット上でいつでも変更可能な意思表示登録を提供しています。自分の意志が変わっていくのは自然なことです。今の自分の気持ちで意思表示登録をしてみてもいいでしょうか。

ズレ郎

はい、ターゲットにしたのは、臓器提供について知ってるけれども、意思表示は明らかにしてないと。インサイトは臓器提供をするかどうか、悩んだあげく、決め切れないうちに忘れてしまっている。

その人に対して、JOTが提供できる USP として、JOTは臓器提供に関するあなたの意思表示を尊重し、万が一の時に関係者にお伝えする役割を担っています。マイナンバーカードや免許証、インターネット登録などを幅広く、ユーザーの手段を用意することであなたの意思表示を支援しますにしました。

プロポジションとしては、その臓器提供は、生死や体にかかわる大事な選択だからこそ、意思が変わることもあるけれど、悩んでいるうちに後回しにしていると、もしもの時は急にやってくると、そんな時にあなたの家族を悩ませないために、JOTはインターネット上で、いつでも変更可能な意思表示の登録を提供しています。自分の意思が変わって行くことは自然なことです。

今の自分の気持ちで、意思表示登録をしてみてもいいでしょうか。という感じでありました。

米村

決めきれないうちに忘れてしまっていたというのはインサイトではない。

ズレ郎

そうですね。忘れてしまっていたということはインサイトどうなるんですか？

米村

そこじゃない、ということ。

ズレ郎

そうか、だから、悩むというところが、インサイトであって、その結果としてということか

【ままだおるのストラテジーA】

ターゲット

結婚・出産をむかえ、家族に対して責任を持ち始める方

ターゲットインサイト

自分が将来何かあったときに残された家族に迷惑をかけたくない

USP

最善の方法で臓器を橋渡しする唯一の機関として、臓器移植の意思表示をする啓蒙活動を行う。

プロポジション

新しく家族が増えるタイミングで、将来の万が一に備えて臓器移植の意思を表明し責任ある行動をすることで残された家族に対して迷惑をかけない。

ままだおる

はい、臓器提供については知ってるけれども、表示とかそういうのを後回しにしないようにきっかけを作るということを前提として考えました。結婚し出産とか迎えて、家族に対して責任をもってる方をターゲットにしました。

そういう人は、自分が将来何かあった時に残された家族に迷惑をかけたくないという気持ちがあるんじゃないかなと。その時に、USPとしては、臓器移植の意思表示の啓蒙活動を行っていることもあるので、この新しい家族を抱える人に対して、将来、万が一に備えて意思を表示し、自分がどうしたいのかということをきちんと表示することは、まず責任ある行動で、残された家族に対して迷惑をかけないように、きちんと表示をしましょうということを伝えようと考えました。

【ままだおるのストラテジーZ】

ターゲット
小中学校の子どもに職業体験を通して社会を学ばせたい親

ターゲットインサイト
子どもに社会のいろいろなことを勉強させてあげたい。

USP
最善の方法で臓器を橋渡しする唯一の機関として、
臓器移植の意思表示をする啓蒙活動を行う

プロポジション
模擬体験を通して子どもと一緒に学ぶことで、
家族に万が一が行ったときの対応を考えるきっかけをつくりましょう。

もう1つの方なんですけども、先ほどの移植については知っているけれども、意思表示とか後回しにしている人に対して、小中学校とかそういった時に知っていくのが必要なのかなというふうに思いました。ただ、やっぱりなかなか、小学校とか中学校とかで伝えるのは、宗教的なことがいろんなことがなかなかできないこともあったので、学ばせるような機会を作るのはありかと思いました。

自分の子供に対していろんな社会のことを学ばせたいといういいんじゃないかなと思ったので、できるんじゃないかなと思いました。USPとしてもそういったことを、啓蒙活動を行っていることもありますので、実際の模擬体験を通し、子どもと一緒に学ぶことで、万が一のこったときの対応という考えきっかけというところを知りましょうというところを考えてきました。

米村

自分で作ってみてどう思った？

ままだおる

考えてきて、どういうふうな人をどうさせたいのかというところをちゃんと考え切れてなかったなど。

米村

結婚をしましようってときに、俺ドナー登録しようと思っていて・・・てどうなのかな

ままだおる

なかなか普段の中で考えないからこそ考えるきっかけが必要で、ポーっとは考えないなと思った時に、結婚とか新しい子供が生まれたら、自分が万が一となった時に考えるかなって思ったので。

【豚骨精神のストラテジーA】

- **ターゲット**
 - 終活に取り取り掛かろうとしてる人
- **インサイト**
 - 自分の死後、家族に迷惑をかけたくない
- **USP**
 - JOTは臓器提供の意思を公的に記録し、必要なときに実現へつなげる団体です。
- **プロポジション**
 - これまでの終活は、相続や葬儀など経済的負担を減らす準備が中心でした。JOTを通じて臓器提供の意思を残せば、家族の心理的負担まで軽くでき、終活の完成度を高めて安心できます。

豚骨精神

これ、私も、いきなり終活って書いてちゃってるんですけども、判断の後回しにしている人で、かつ終活に取りかかろうとしている人、掛け算的なところをターゲットにしました。自分の死に向き合おうとしているので、インサイトの話にちょっと関わってくるんですけど、インサイトって、こう皆さんが書いていらっしやるとおり、自分の死のこととか考えたくないみたいなのがハードルがあるかなと思ったんですけども、終活っていうところを掛け算することで、そのハードルが下がるのかな？と思ってそこをターゲットにしています。

終活に取り掛かる方のインサイトになってしまうんですけども、それぞれ取りかかる方って、普通に自分の死後、家族に迷惑をかけたくないというところからやられると思うんで、普通にその終活のワークの中に取り入れたら、もう解決するんじゃないかなって思いました。

USPは、JOTは臓器提供の意思を公的に記録し、必要な時に実現につなげる団体ですとしています。これにした理由はその公的に記録とか、実現ちゃんとしてくれるかどうかみたいなのところって、お葬式の遺言のものとか、公的か公的じゃないかみたいなのところで問題になったりとか、結局、誰が実行するんだということころを揉めたりとかするらしいので、そこに対して、JOTはちゃんとやってくれるよっていうのが、インサイトにむいているのではないかなと思ってこれにしました。

プロポジションは、これまでの終活は相続や葬儀など、経済的負担を減らす準備がJOTを通して臓器提供の意思を残せば、家族の心理的負担まで軽くできて、終活の完成度を高めて安心できますよというものになっています。

米村

自分自身の家族に迷惑をかけたくないインサイトのもと、
終活をするところにわりとハードルの低いターゲットがいるんじゃないかっていう話だよな。

【豚骨精神のストラテジーZ】

- **ターゲット**
 - 休日の朝からカフェ活している人
- **インサイト**
 - 「ちょっとおしゃれ」「自分らしい選択」を実行している自分が好き
- **USP**
 - JOTは、臓器移植を街全体で共有できるシンボルに変える“グリーンリボンキャンペーン”を展開している団体です。
- **プロポジション**
 - 臓器提供の意思表示は未来にまで自分のスタイルを貫けます。まだ多くの人が触れないテーマだからこそ、社会に一步先んじているスマートな人になれます。

豚骨精神

はい、私の戦略的なところで言うと、これもターゲットとしては、後回しにしている人なんですけれども、後回しにしているのが、いろいろで、めんどくさかったり、こうなんとなく考えるのを後にするみたいなのところだと思っているんですけれども、それに対して、意思表示していることって、カッコいいことだからみたいな、価値を付与することで、こうイエスなりノーなり、意思表示してくれるんじゃないかなと思って。

臓器移植するということの価値を変えたら、動いてくれるんじゃないかなと思っています。休日の朝からカフェ活している人のインサイトって、すみませんちゃんと真面目に、ワークされている方もいらっしゃるんですけど、それ以外にもちょっと土日の朝からPCを開いている俺、のコーヒー飲んでる、飲みながら読書している私、デイリーで見つけている私って、ちょっとおしゃれ、私らしい選択をしているよみたいなのが好きな人に対して、ちょっとおしゃれ方面に訴求しています。

USPはグリーンリボンのキャンペーンをプッシュするところで、臓器移植ってものを街全体を巻き込んでやってるんですみたいな。とてもシティーな団体なんですよ、みたいなところをプッシュするというものをUSPに置きました。

これに対するプロポジションは臓器提供の意思表示は、未来まであなたのスタイルを、あなたが今カフェに行って、私のスタイルみたいなふうやってるみたいにな、貫くことができます。しかも、まだみんなやってないです。だから、あなたが今やることで、社会に一步を先んじているスマートの人になれちゃいますよって。ちょっとこう、おしゃれな人になりますよ、みたいなこと考えました。

米村

この場合、臓器移植はイエス意思表示しましたというのを、世の中にアピールできるツールって必要ないのかな？

豚骨精神

アピールまではしなくていいと思って、自己満足で。
カフェでは朝からデイリー書いてるし、

米村

それはさ、自己アピールしてるじゃない。あれはカフェでやってるわけでしょう。

豚骨精神

なるほどな、そうかな。

米村

提供しますと丸つけただけでは誰も知らないっていう状態で、

豚骨精神

グリーンリボンキャンペーンがそこまでのキャンペーンとかしてくれたら素敵だなと、スタバでコースターみたいなのもらえるとか、そういうキャンペーンしてくれたらにいけるんじゃないかなと思っています。

前提

- 本課題では、臓器移植そのものではなく、「日本臓器移植ネットワーク（JOT）」のコミュニケーション戦略を設計することを目的とする。
- JOTが啓発で重視しているのは、臓器提供の可否ではなく、「**意思表示**」という**行動の促進**である。
- よって、啓発のゴールは「**YESでもNOでもよいので、今の意思を明確に表示する人を増やすこと**」である。

だら

社会的な課題

日本における臓器提供の意思表示率は、依然として低い水準にとどまっている。

- 意思表示の存在を「知っている」人 … **約60%**
- 実際に「意思表示をしている」人 … **約10%**

あるべき姿と現状のギャップ（問題点の整理）

- **あるべき姿：**

臓器移植に関して意思を持っているすべての人が、その意思を明確に表示している状態

- **現状：**

約60%が意思表示の存在を知っているが、意思表示をしている人は約10%

- **ギャップ：**

意思表示の認知者のうち、**約90%が行動していない**

臓器提供に前向きな人の存在

内閣府の世論調査（2021年）によれば、「自分は臓器提供をしてもよい」と前向きに考えている人は**39.5%**にのぼる。

つまり、臓器提供に対して肯定的な意志を持つ人が一定数存在するにもかかわらず、その多くが実際の意思表示には至っていない。

この「**意志はあるのに行動していない層**」にこそ、アプローチの余地がある。

行動しない理由の分析

「意思表示の認知者のうち、意思表示していない人」は、なぜ行動に移せないのか。以下は、複数の調査に基づく主な理由の分類である。

分類	内容	割合（参考値）
心理的な不安・抵抗感	「なんとなく不安」「死を考えたくない」「臓器提供に抵抗がある」「脳死から生き返る可能性を考えてしまう」「治療が最後まで行われないのではという懸念」など	約60%
判断の先送り	「なんとなく後回し」「まだ考えられない」「今でなくてもいいと思っている」など	約20～30%
家族との関係要因	「家族と話していない」「家族の同意が不安」「家族が反対しそう」など	約20%前後
情報不足・関心の低さ	「詳しく知らない」「考えたことがない」など	約10%前後

結論

以上の分析から、意思表示をしていない理由として多数なのは、「**心理的な不安・抵抗感**」「**判断の先送り**」この2つであることが明らかとなった。

つまり、臓器提供をしたくないから行動しないのではなく、**考えることそのものがしんどい**ために後回しにしているのが実態である。

このような状態にある人々に対しては、不安を煽ることで、感動を押しつけることでもなく、**正確な情報を届けることで、不安を解消させ、納得して自分なりの意思を整理できる状況**をつくることが重要である。

したがって、今回のコミュニケーション戦略では、次のような方向性とした。

だら

この課題は、そもそも前提として、臓器移植そのものじゃなくて、JOTのコミュニケーション考えるならJOTが啓発で、提供の可否じゃなくて、意思表示をする人を増やすというのが、本来の目指すところかなと思います。

調べてみると表示している人は、依然として低い水準で、知ってる人は60%で、実際に表示している人は、10%。

で、じゃあ、今回の問題はどやって考えたらいいなと思った時に、意思を明確に表示している状態をつくるということをゴールにするのであれば、知っている人のうち90%は行動できていないとしていないというところが、今回の問題点になるのかな、と思っています。

一方で、臓器提供に前向きな人もいて、その数はなんと39.5%ということは、臓器提供に対して、肯定的な意識を持つ人が一定数いるにもかかわらず、その多くが実際に意思表示を行っていない。この意思はあるんだけど、行動していない人にこそアプローチ余地があるんだなと考えました。

じゃあ、意思があるのに行動しないのは、なんでなんだろうと、ちょっと色々調べてみました。いろんな調査を元にして出したんですけど、一番多いのは、心理的な不安感や抵抗感から死を考えたくないとか、先ほど皆さんが出た意見もあります。

あとは、判断の先送り、なんとなくあと回しにしているか、まだ考えられて今じゃないということかというものが、20%から30%。

で、先ほど出ていた家族との問題。うちもそうです。家族が反対とかそういった人たち。それとそもそも詳しくないと考えたこともないのも10%前後いるということがわかりました。

なので、意思表示をしていない理由として、多数あるのは、心理的な不安定効果、それと判断の先送りという、この2つなので、この人たちって、臓器提供したくないから行動してないわけじゃなくて考えることそのものはしんどいんじゃないかなというふうに考えています。

なので、このような状態にある人に対して不安を煽ったりとかするんじゃなくて、まずは正確な情報を届けることで、不安を解消させて、納得して、自分なりの意思表示をする状況を作る、といったことが、大切なんじゃないかなと思いました。今回は、これに基づいて、A案とZ案を考えました。

【だらのストラテジーA】

コミュニケーションストラテジー（A案）

●ターゲット

臓器移植に関する意思表示は知っているが、意思表示をしていない人

●ターゲットインサイト

意思表示する機会も関心もある。でも、自分の死後や他人の命のことに真剣に向き合うのは重たくてしんどいし、何をどう考えればいいのかわからないので、つい後回しにしてしまう

●USP

臓器移植に関する正確な情報を、公的な立場で発信する日本で唯一の機関

●プロポジション

JOTは、臓器移植について医学的・法的根拠に基づいた「事実だけ」を伝えます。正確な情報を知ることによって漠然とした不安が整理され、あなたなりの納得感のある答えが見つかります。どうかその答えに自信を持って、心の引っかかりのないスッキリとした人生を歩んでください。

だら

A案はターゲットが臓器移植に関する意思表示をできることは知ってるけれども、意思表示をしていない人。ターゲットインサイトが意思表示する機会も、関心もすでにあるんだけど、でも、自分の死後だとか、他人の命のことを真剣に向き合うのは、重たくてしんどいと感じている。

何をどう考えればいいのかわからないので、ついつい後回しにしてしまっている。

なんで重たく感じるんだらうなって考えた時に、やっぱり死のことを考えるのは恐怖とかもあると思うんですけども、このインサイトはどっちかという、何をどこから考えていけばいいのかわからないみたいな層としています。その人たちに対して、臓器移植に関する正確な情報を法的な立場で発信する日本で唯一の機関なんですよ、というのが USP になるかなと思っています。しかも公的な立場で、嘘をつけないというのは信頼になるかと思います。

プロポジションは、JOT は臓器移植について、医学的法的根拠に基づいた事実だけを伝えます。正確な情報を知ることによって、漠然とした不安が整理され、あなたにあなたなりの納得感のある答えが見つかります。どうか、その答えに自信を持って心の引っ掛かりのないスッキリとした人生を歩んでくださいとしました。

事実だけというのが結構重要かなと思って、JOT のホームページを読んでいると、主張とかそういうのが一切なくて、事実ベースにしか書いてないんです。

本当に意思表示をする人の意見を尊重してくるんだなというのは、分かったのをちゃんと伝えていけばいいんじゃないかなと。そうすると、その人が自分の意思が頭が整理されていくんじゃないかなと。どこかにやらかなきゃないみたいな感覚と、その心の引っかかりみたいなものがなくなるとすっきりとするんじゃないかな

ないかなと。私もまだ実表示してないのでちょっとおかしなところなんですけど後ろめたさがあり引っ掛かりがある状態なので、そう言ったところがスーするのかなと思って、このようにしました。

【だらのストラテジーZ】

コミュニケーションストラテジー（Z案）

●ターゲット

臓器提供に前向きな気持ちはあるが、意思表示をしていない人

●ターゲットインサイト

YESの意思表示をすることで「脳死になった時に生き返る可能性がゼロになるのではないか」「治療に最善を尽くしてもらえないのではないか」といった不安があり、納得して意思表示できない。

●USP

臓器移植の啓発から提供手続き、移植後のアフターケアまでをワンストップで支える、日本で唯一の公的機関

●プロポジション

JOTは、適切な情報発信と、臓器移植のプロセス全体を支える仕組みによって、臓器提供に関する誤解を解き、あなたの不安を最小限にします。今のあなたの気持ちを、意思表示という行動に移すことで、自分自身が納得できる選択をしたと胸を張って生きていけます。

だら

Z案は、今度は臓器提供に前向きな39%ぐらいの人たちがターゲットです。

前向きな気持ちはあるんだけど意思表示していない。

じゃあ、なんで前向きなのに意思表示しないのかなって考えたときに、イエスの意思表示をすることで、脳死になったときに、機会や可能性がゼロになっちゃうんじゃないかとか、治療に最善を尽くしてもらえないんじゃないかという不安で納得して意思表示できない状態なのかなと思って。

じゃあ、その人たちに対して、どんなことを伝えてあげたいかというと、臓器移植の啓発から提供手続き、移植後のアフターケアまで、ワンストップで支える日本で唯一の公的機関であると伝えたいなと思います。

というのも、脳死だったときに生き返る可能性があるとか治療に最善を尽くしてもらえないといった、デマみたいなのがあったりするので、ここで正確な情報というのが必要になる。そして、そのじゃあ、なんで正確な情報を発信しているかというと、すべてをワンストップで支えていく団体だからこそ、そういった正確な情報が渡せるのだと思いました。したがって、このプロポジションは、JOTは適切な情報発信と臓器移植のプロセス全体を支える仕組みによって、臓器提供に関する誤解を解き、あなたの不安を最小限にします。今のあなた自身の気持ちを意思表示することで自分自身が納得できる選択をしたと思って胸をはって生きていけますをプロポジションといたしました。

米村

これはある種、意思を持って登録していない人ということかな。

だら

不安というのは、ちょっと不安でなんとなくやっていない人か、不安だからもうやらないと決めてる人かも中々調べるの難しかったんですけど・・

米村

データのどちらというよりもインサイトはさ、やっぱり、そこに不安があって納得して意思表示してないわけだから。逆に言うと不安があるから、意思表示していません。ということもできるかもしれない

だら

そうですね

【米村スライド】

④その他

米村

その他というものも1個だけあるので。

【づらのストラテジーZ2】

ターゲット:

ムーの読者

インサイト:

スピリチュアルが好き。

嘘だと想いつつ面白おかしい噂話が好き。

USP:

日本で唯一、正しい臓器移植の橋渡し行える国家公認組織。

プロポジション:

この世には、本当の生まれ変わりが存在します。

JOTは日本で唯一、臓器移植を通して、あなたの臓器を転生させることができます。

づら

ZのZで考えたんですけど。ターゲットがムーの読者でインサイトはやっぱりスピリチュアルが好きだし、嘘だってわかっていながら、そういう面白いおかしい話が好きな人。USPは日本で唯一、臓器の橋渡しを行える国家公認組織。

プロポジションは、この世には本当に生まれ変わりが存在します。JOTは日本で唯一、臓器移植を通して、あなたの臓器を転生させることができます。みたいな言い方で、できたりするかな??

米村

ナイスライアルというところかな（笑）。臓器移植を行える国家公認組織ってなんか怖いね。国家公認と臓器移植って言葉があると恐ろしさを感じる。

米村

今日は、だらの「最初の整理」、こういう文脈で整理していくことがまずは必要なんだろうなと。今日のストラテジーの振り分けとして。家族との関係をみたいなことは別になるけど、大体のというこの中の1番上と、2番目ということだよ。

だら

これ、一番多かったんで、そこを中心に考えていいかなと思います。

なんとなく後回しているかっていうのは、不安と重なってる人いるんじゃないかなと思って。

【再掲】

分類	内容	割合（参考値）
心理的な不安・抵抗感	「なんとなく不安」「死を考えたくない」「臓器提供に抵抗がある」「脳死から生き返る可能性を考えてしまう」「治療が最後まで行われないのではという懸念」など	約60%
判断の先送り	「なんとなく後回し」「まだ考えられない」「今でなくてもいいと思っている」など	約20～30%
家族との関係要因	「家族と話していない」「家族の同意が不安」「家族が反対しそう」など	約20%前後
情報不足・関心の低さ	「詳しく知らない」「考えたことがない」など	約10%前後

米村

でも、一番上は確かに1番パーセンテージが多いんだけど、やっぱり、こういう理由があるから先送りしてるってことがあるよね。俺はこのテーマは、理由があって先送りにしている人の態度変容をさせることって相当ハードルが高いのではないかなと思ってる。

それこそさっきの安全地帯のお母さんじゃないけど。死んであの世行った時に5体満足じゃないといけないうちかもしれないから、やっぱり内臓を取られるので、いやだと思っている人にいくら、正しい情報を与えても、死後の世界のことは変えられない。

だら

知らないから、不安みたいなのがあるじゃないですか。

モゴ

正確な情報がしれたら良いのでは。

JOTのサイトにアクセスした人のパーセンテージという前提がある気がした。

JOTの「意思表示という行動の促進」っていうのはそうだと思うんですけど、確かに言葉としてはどの権利も尊重しますと言ってるけれども、例えば手記読んでも基本的に臓器提供した人の家族のものなんですよ。もし、それがどっちでも良かったから、誰にも臓器をあげなかったけどそれでよかったんですって、家族の声を載せるべきだと思うんですよ。

米村

両方併記することにどんな意味があるの

モゴ

それがフェアなんじゃないかと思って。臓器提供の数を増やすことを推進するんじゃなくて、イエスでもノーでもいいからそれを増やしていくことなので。

米村

いや、でも臓器提供をしなかった人・家族って、自分たちも含めて、ほとんど多くの人がそうだったわけで、臓器提供の人の家族の手記だから紹介する意味があるんじゃないの。

モゴ

それは推進をしていきたいという意思があるから

米村

いや JOT の意思是推進したいじゃなくて、考えて欲しい、それを考えた結果、イエスでもノーでもいいですよっていうこと。

ここで考えたいのは、特にどこに態度変容する可能性があるか？ということで、僕は 2 番目と 4 番目が可能性があると思っている。もちろん、一番上の人で態度変容をする人が出る可能性もあるんだけど。こういった件に関しては抵抗感がある人に事実を知らせるだけで、というのは相当ハードル高いんじゃないかなと。

だら

じゃあ、なんで理由はあるけど、なぜ意思表示ノーにしないんでしょうか？

モゴ

なんとなくっていうインサイトってあるんですか？

米村

いや、なんなんとなんくなっていうのはインサイトじゃない、なぜなんとなくなるかっていうところがインサイト。

今日、ちょっとみんなと話したかったのはプロポジションというのは、ターゲットに対してどのようにメッセージで伝えたら、その人は態度変容してくれるんじゃないかっていうことだよな。

改めてさ、自分がターゲットだったとして今日出てきたプロポジションでどれが態度変容するかっていうのを考えてみてほしい。

だら

白湯さんのA案とか

プロポジション あなたの意思が、友人、次世代の子供たち、社会全体を支えるきっかけになります。

米村

このプロポジションだったら、自分先送りしているけれど、これ言われたら、やるかもみたいなのを言ってもらえると。これ変わる？

だら

確かに、その家族の人が自分で考えると、子どもとかが考えてないと言ったら、ちょっとやっぱりなって。

米村

だけどそもそも論、普通に亡くなって、普通に埋葬されたら、臓器提供する必要にせまられないことがほとんどでしょう。なくなった人すべてにさ、臓器提供しなきゃいけないという状態に置かれて、家族があたふたがする、みたいなことになる人ってそんなによく聞く話ではないよね。

あれ、だらは今は意思提示してるんだっけ？

だら

今まだしてないしないです。もともとは親が、臓器提供いやだっけって言っていて。この課題にやっている時に、やっぱりしようかなって思っ。

★★ここで各案のプロポジションを読み上げて態度変容するものに手をあげていく★★

米村

白湯は？

白湯

手をあげてないんですけど、最後の不安を最小限にするとかって言われると、確かになって思ったところがありました。あとは、自分がもし終活してたら、それも意思表示を行動しそうだなと思いました。

安全地帯

今、ここにいる人は、適切な情報発信のプロセスっていうのを知ったわけじゃないですか。その上で、みんなどう思ったのかなっていうのは、ちょっと気になっていて。適切な情報提供を受けたら、意思表示をするっていう仮説が成り立つんだったら、ここにいるみんなが意思表示するはずで・・・。

米村

白湯のプロポジションにもごとトリが手を挙げたのはどうして？

もご

僕、結構インサイト長くなってしまっていて整理しなかったなと。すごい気づいたんですけど、言葉は選ばずにいうと、かわいそうな患者さんが助かりますっていう前提に立ってたんだな。と思った。

これは反省でもあるんですけど。白湯のプロポジションは、その人が元気になって、社会の一員として活躍するって、もちろん大谷翔平とかなるわけではないですけど、確かに、その人が社会の一員になって、ちゃんと生きていくということは、社会の中で活躍していくんだってそこまで引き上げているのが気づきになった。かわいそうな人を1人助かります。じゃなくて、その人が社会において普通の生活するというのは、その人に救われる人がいるかもしれない。すごい気づきだなと思いました。

トリ

社会的な支えるきっかけみたいなのところがいいなと思ったのと、友人、次世代の子供たちに、まわりにまわって友人の友人だったり、孫だったりみたいなのところが想起されて、ちょっといいかなと思ったんです。

米村

白湯はさっき、いろいろ質問したけど、そこは、そういうふう考えていたの？

白湯

はい、そうです。いろいろ考えたときに、だらさんのあの整理の中で、やっぱりこれだけ行動していない人がいるってところを変えたいなど。やっぱりその人自身の意思表示をするためってところをターゲットの背景にしてたんで、そういう人のにきっかけにするってところでは、友人とか、次世代の子どもたちにつながるとかっていうところを見せた方が、ライトにちょっと行動するきっかけになるんじゃないかなと思ったんで、そこを一番に出してました。

安全地帯

友人と次世代の友達って、先ほどの話聞いて、ちょっとぼやぼやけるというか、別なんじゃないかなと思った。友人って、他人ではあるけど、自分の知っている人じゃないですか。次世代の子供たちって、もう少し距離が遠い赤の他人っていうことを想起させる言葉だと思んですけど、ちょっとどっちを重視しているか、改めて聞いていいですか？っていうのも、さっきもごさんがおっしゃった、かわいそうな人を助けるってところから、社会その人が元気な社会を支えるという話に僕はすごく納得したんですけど、一方で、トリさんのその身近な人の回り回ってっていうのはちょっと違う気がするんです。もごさんの方は赤の他人でも成り立つんだけど、トリさんの方は、身近な人っていうところに落ちてるから。

白湯

それで言うと、身近な人たちの方が行動になるかなって思っていました。もごさんとかは。経営者だし、大きく世界を見てるからって思うんですけど、もっとそれこそ考えるきっかけが必要な人をイメージしてたんで、それで言うと近い人の方がや考えてみようかなってなるかなって思います。

安全地帯

JOTのマッチング制度的に、自分の知ってる人に自分の臓器を渡すってというのは、結構奇跡に近いとかしていて、そこがミスリードにならないからってのはちょっと思いました。

白湯

きっかけだからいいのかなって思っています。結局、そこで、自分の臓器が友達のためにならなくても、そういう人が増えれば、その人が助かる確率が上がるっていうことになればいいのかな？これは、意思表示をしてノーと書いている人たちが多い。それをイエスの人を増やしたいっていう時の戦略ではなくて、意思表示をする人を増やしたいっていう段階だと思ってるんで、これくらいいいのかなって。

安全地帯

ありがとうございます。

米村

ストラテジー、インサイトとか考えるときって、基本的には、自分にそのターゲットの気持ちを憑依させて考えてみるっていう行為。だから、リアルの仕事の時は、そのインサイトを知るために結構リサーチしたりグループインタビューしたりして、そのターゲットになる人たちに聞いたりする。

最初に説明した食器洗浄機の話は若い主婦の人たちは、やっぱり夫の母親に今時の若者はと思われることがものすごく怖いって。これは僕ら男性が机上で考えてもなかなか出てこない。でも、このクラスでは、リサーチはしないので、仮説としてのインサイトを自分自身がターゲットになりきって、どういう思いがあるんだろうということを考える。

今回のインサイトって、みんな自分が臓器を提供する側その気持ちだけで考えているんじゃないかな、という気がしたんだけど、もしも、自分が臓器提供を受けないと死ぬような病気だったらどうする？明日、そういう病気にならないとは限らない。彼女とか奥さんがそういう病気になったら。

実は2ヶ月前に初孫が生まれたのだけれど、その孫が臓器移植しないといけない状態になったと想像したら、どんな気持ちだろうと考えてみた。

一番最初この課題をやった時に、数字を見せて1年間で臓器提供したのは131人で、臓器提供待っている人1万6500人は受けられなかったと。つまり提供を1万6500人は待ってたけど、もらえなかった人はかなりの確率で亡くなっているわけだよね。

それが自分だったり、自分の大切な人、自分の子供とかを想像すると、今日のストラテジーでどうかね？あのくらいのことでそんな説得できる？

自分の例えば子供とかが、待っていて臓器をもらえない人になるかもしれないと思って、そんな時に、なんとなく不安だから後回しする人は世の中にいっぱいいるっていう状態の時にどうやってこう事実を知ってもらおうとするのかと考えてみたら？

ちょっとあの人がいてるって思われてもらうために。みたいなことどう思う？

これはストラテジーだから、そういうことでありかもと思う人はいなくはないんだよ。

が、そういうアプローチを選ぶべきかどうかっていうこと。

今さ、ガザとか本当にひどいじゃない？なんで世界がそれに対して何もできないのかっていう。この間も一度爆撃された病院に、たくさんの方が助けに行っていたりすると同時に、もう一回爆撃するみたいなことだってあって、その亡くなった医者の回想シーンとか、その人の写真とか動画が流れたりすると、やっぱりそれ何とかしたいと思ったりするわけ。

でも、僕たちは知らないだけで同じようなことが、ずっとこの1万5000人のところであるわけだね。

そう考えると、想像力みたいなものが、やっぱり戦略を考える時に必要なんだと思うんだよね。

だから、白湯のプロポジションに、唯一3人手をあげたけど、みんなちゃんと言語化できなかっただけで、やっぱりちょっと自分の大事な人がそれによって助かる。逆に言うとそれがないと死んじゃうってすると想像するとき、やっぱり説得力が全然違うんじゃないかと。

だとしたらそういうアプローチが、戦略でできるとしたら、そういう人たちのインサイトって臓器移植というのに対してどういうふうな気持ちでいるかって話じゃなくて、やっぱり大事な人が亡くなるということに対するどういう思いなのかとかっていうところに臓器移植ネットワークのシステムとエンゲージしてるようなインサイトというものがある。

臓器移植やJOTに対する気持ちっていうところでインサイトを探すんじゃなくて、自分の命や自分の大事な人の命というところにそのトリガーがないか探す。

戦略のインサイトっていうのは、その商品とか、そのサービスに対してどう思っているかを探すのではなく、そういうことに意識がない人、それとは無関係に常に思っていることと戦略のプロポジションの接点を探す。今回難しいのは、最終的にどういうアウトプットがあったら皆意思表示するかどうかというところからの、ちょっと逆算した戦略になる気がする

最終的に表現したらと想像しながら、戦略考えないと、なかなか整理つかないのかもしれないね。自分が一番大事だと思っている人、その人が臓器移植をしないと死ぬ時、自分はどのような行動をするかということをやっと考えてみてほしい。

もご

手記を全部ではないんですけど読んで、やっぱりものすごい。

臓器を提供するご家族の方も、やっぱりその亡くなったお子さんは自分にとって宝なので、やっぱりものすごくその子を書いていてその子が亡くなることは寂しい、悲しいけれどっていうので、逆にその待つ側の人も、やっぱり生きたいという気持ちがあって。

米村

時々、日本では手術できないから、アメリカに行くみたいなので報道されてるよね。

お金が集まっていけるみたいなこと。そういうふうに取り上げられなくても、やっぱりもう1万6500人

ぐらいの人が同じような境遇にある。自分の大切な子供の脳死状態の子どもの臓器を、知らない子供に提供して、その中で自分の子供が生きていけるっていう話も美しいんだけど、リアリティとしては、そのこと以上に1万6500人の人たちが、やっぱりくじ引きに選んでもらえなくて、亡くなっていくっていう事実があること。

家族とこの話したしたときに、うちの近所の今大学生が高校生の時に、臓器移植じゃないけれど、骨髄バンクに登録していて提供してもらえますかって連絡が来きたらしい。骨髄移植は、提供する側も10日間ぐらい入院しなきゃいけないし、ドナーにもリスクもあるらしいから、彼の母親なんかは、なんでそんなことを登録したんだろうってやめてほしいとかって思ってたらしい。

無事に健康体に戻れたって言ってたけど、それに比べると死んだ後臓器をあげるみたいな話だったら、全然、死にそうになってる人のことを助けることのほうに貢献したいなと思うような気がするんだよね。

もちろん、そういうことが嫌だって言ってる人の意識までは変えられないと思うけど。

毎年1万6500人ぐらい待ってるけど、もらえなくて死ぬ人がいるっていうことを知って、自分にもしものたらその分救える人がいるという話をするとき、ちょっと行動変わる人が今日みんなが考えているプロポジションよりはいる気がする。白湯が考えているやつ近いかもしれないけど、ちょっとそういうふうな問題を捉え直して、もう一回ちょっと強いストラテジー考えたい。

豚骨精神の終活の人たちにアプローチをすることは、実際の戦術的にあり。

でもその前にもっとぶつうにくらしている人たちの中で態度変容してもらえる人の可能性のほうが効果は大きいんじゃないかなと思ったから、まずはそこを考えたい。

ジムのトレーナーとしての話ではなく、広告学校の先生でもないし、このチームで戦略を考えているというクリエイティブディレクションのクリエイティブディレクターとして判断をして、そうすべきなんじゃないかなって。みんなのやつをいろいろみて今日は思った。

もう一回ストラテジーを、ブラッシュアップしていこうかなと。ちょっとそういう風に考えると道筋ができるような気がするんで。

僕

今度のイメージは、意思表示というより臓器提供についてやるかやらないかということ？

米村

いや意思表示してくださいというところまでしか言えないと思う。

俺も今回の課題をやるにあたって、マイナンバーカードとかみて、でもやっぱりあの家族優先っていう項

目にはチェックした。やっぱり自分の家族が同じ病気にもしなったらやっぱりそっち優先してほしいじゃない。

だから、そこまでこう、世の中の具体的な誰かのためにというところを最優先にさせられる強制力はないと思うけど。でもやっぱり、そういったことを知ることによって態度が変わる人は一定数いるはずだから。知った上で考えてくださいってということだと思う。

考えもしないで先送りしている人が、あまりにも多いから。そこをなんとかしようと。

僕

イエスカノーどちらでもとを言って、例えば、さっきも話してた家族とかであればもちろん、自分の臓器で生きるかもしれないということならイエスという気持ちも多くなると思うので。

例えば、そういうプロポジションになったら、結構イエス寄りの気持ちになるんじゃないかなと思って、ちょっと気になった。

どうすれば、そういうイエス寄りにもっている事実を伝えつつ、どちらでもいいよというふうな提供の選択肢肢をするのか。さっき聞いて気になったので。

米村

国の公的機関だから、臓器提供をしますので、〇つけてくださいと言えないと思う。それこそ法律を変えて、デフォルトをかえるということだけど、選挙に行ってくれとは言えるけど、誰に入れろとは言えないよね。

考えて、意思表示しましょうと。

僕

ありがとうございます。

米村

では今回は以上で。

一同

ありがとうございます。